

Q. 須藤利一という人を知っていますか？

今回のQ & Aは趣向を変えて、郷土資料室から読者のみなさんへの問いかけです。
「須藤利一」という名を見て、すぐにどのような人物が分かる方は、もしかするともうさほど多くないかもしれません。しかし、この方、戦前期の沖縄研究を語るときに、忘れてはいけない重要人物の一人なのです。今回は大正から昭和にかけて大きく花開いた沖縄学の立役者の一人である同氏について取り上げたいと思います。

須藤利一は、1901年東京に生まれ、東京帝国大学工学部船舶科で学びました。1927年に台北高等学校の講師（29年より教授）として台湾に渡ります。この台湾生活で須藤は痛にしのが沖縄研究でした。

その出会いは、台北高校図書館にあった伊波普猷の『孤島苦の琉球史』であった、と須藤は『南島研究』第5号に寄稿した「沖縄と私」という文章で述懐しています。そこから沖縄関係図書を次々と読破するなかで、彼は矢袋喜一の『琉球古来の数学と結縄及記標文字』を手にとることとなります。結縄とは、つまり「わらざん」のこと、記標文字とは「カイダー字」や「スーチューマ」のことで、どちらも王国時代から近代初期にかけて使用された、租税の数量を人々に伝えるための伝達法、またその記録法です。地域に残る数学も租税に関連することからの実用的な算出法でした。数学史への興味が沖縄研究への入り口となったのです。

1934年の夏を皮切りに、複数回にわたって行われた沖縄調査旅行は、岩崎卓爾・喜舎場永珣・島袋源一郎・比嘉盛章という当代一の郷土史家たちとの知遇を得たと同時に、彼らからの惜しめない史料の提供と指導を得るなど、須藤にとって実りの多いものとなりました。この時期、須藤は「琉球のKnot Records」（『日本学術協会報告』第10巻第1号、1935年）、「八重山数学「算用拔」に就て」（『南方土俗』第4巻第2号「彙報」、1936年）、「宮古算法」に就いて」（上・中・下）（『沖縄教育』第247・249・250号、1937年）などの成果を立て続けに発表していきます。そして、この調査旅行のなから芽を出したのが、雑誌『南島』でした。

『南島』発刊の経緯については、『南方民俗』第6巻1・2号に掲載された「八重山の穂利祭」および、『南島』第1輯の編集後記に述べられています。その初期構想は、「八重山中心の郷土雑誌を作り、だんだんに連綿に帰そうとする南島の特異な土俗の記録や、又諸旧家に空しく秘蔵されている古文書古記録の保存を今のうちにやっておこう」というものでした。計画は具体化するにつれ次第に対象地域を広げ、沖縄全体を視野に『南島』と題して1940年に刊行を開始しました。編集係は須藤利一を中心に川平朝申・比嘉盛章・宮良賢貞がつとめ、編集顧問として、小栗田淳・金関丈夫・移川子之蔵といった台北帝国大学の気鋭の歴史学・人類学者をはじめ、喜舎場永珣・島袋源一郎・島袋全発・東恩納寛惇・比嘉春潮など沖縄側の研究者も名を連ねたことで、質の高い研究誌となりました。ともすれば首里・那覇中心となりがちな沖縄研究において、離島に残る史料の価値を見だし、沖縄学を深化させた点において『南島』が果たした役割は非常に大きいと言えます。残念ながら、戦況の悪化により『南島』は第3輯をもって刊行が途絶えてしまいます。

須藤の沖縄へのまなざしは、台湾を離れたあとも、そして戦後、施政権が分かれたなかにおいても愛情深く向けられつづけました。1954年から56年にかけては、琉球新報に立て続けに連載を持ち、「パーカー訪琉日記」をはじめとする西洋船の来航記録の翻訳や紹介を行っています。これは、本来の専門である造船学から派生した仕事で、須藤が戦前から取り組んでいたものですが、沖縄にまつわる須藤の業績としても一つの重要な「顔」と言えるでしょう。バジル・ホール、アダマス、プロトンなど、実に10種近い史料を精力的に翻訳しています。

地域史料から海外文献までカバーする視野、それらを読みこなし成果につなげる能力、その双方を兼ね備えた須藤という存在が、沖縄研究に与えた活力と貢献は軽いものではありません。須藤の没後50年となる今年、郷土資料室では、須藤の業績を紹介する展示および関連講演会を企画しています。多くの皆さまのご来場をお待ちしております。（本村）

※書名・論文名および引用文の旧字を新字に、旧仮名遣いを新仮名遣いに改めました。また、くり返し記号を仮名にした箇所があります。

参考資料 ※本文中に示した須藤利一著作は省略しました

磯田 浩「編集後記」『異国船来琉記』須藤利一先生古稀記念出版実行委員会編、法政大学出版局、1974年
川平朝申「須藤利一」『沖縄県史 別巻 沖縄近代史事典』沖縄県教育委員会、1977年
泉水英計「『南島』——植民地台湾における未完の沖縄学——」『国際常民文化研究叢書』4、2013年
三木 健「須藤利一 “南島学派”の一翼」『沖縄ひと紀行』ニライ社、1998年

利用案内

開館時間 9：00～20：00

休 館 日 火曜日・年末年始・特別整理期間

※図書館専用の駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください

- 館内への食べ物の持ち込みはご遠慮ください
飲み物は、密閉できる容器であればお持ち込みいただけます
※5階郷土資料室は完全飲食禁止です
- 携帯電話などの通信機器はマナーモードに設定してください
お電話は4階・5階の電話ボックスをご利用ください
- 館内は撮影禁止です。撮影には別途申請が必要です

図書館カレンダー12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
■ は休館日です。						



年末年始は本と共に...

穏やかな日差しが心地よい師走の季節となりました。蔵書点検では、休館にご協力いただき心より感謝申し上げます。点検を終え資料の整理が完了し、新たな気持ちで年越しを迎える準備ができました。年末の慌ただしい時期ですが、たくさん本を借りて年末年始ゆっくり読書を楽しむのをおすすめです。

皆様が健やかに過ごされ、清々しい新年を迎えられますようお祈り申し上げます。



お知らせ

年末年始開館日カレンダー

年始は5日（9：00～）開館します。

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
27	28	29	30	31	1	2	3	4	5
開館	休み							開館	

※年末年始休館に伴い、貸出期間が通常より長くなっています。返却期限は貸出レシートをご覧ください。

イベント

エジソンのたまご

…… 学校生活・子育てのお悩み、「ゆんたく」そうだん会 参加無料 ……



『あの子はなぜ荒れるのか』『感情コントロールに苦しむ子ども～理解と対応』『子どもの願い』の著者、丹野清彦先生とゆんたくしませんか？今年度は、「居場所としての学校図書館」にもスポットを広げて開催します！学校で気になるお子さんがいる教員、事務、司書の皆様も、ぜひご参加ください。



講師

琉球大学教育学部講師/
大学院元教授
丹野 清彦

参加できる方

幼いお子さんや小・中学生の保護者、支援担当、司書、居場所づくりに関心のある方

お申し込み

沖縄県立図書館 ☎098-894-5858（9：00～20：00）火曜日休館 ➡QRコード

申込QRコード



県立図書館HP



イベント

無料経営相談会

「販路を拡大するため 新規事業の 計画を作りたい」「そろそろ、会社の経営を 次の世代に まかせたい」など事業経営のことなら何でもご相談いただけますので、お気軽にご参加ください！

日時

令和7年12月19日(金) 13:00～18:00

場所

沖縄県立図書館4階ビジネスルーム

参加できる方

中小企業経営者、個人事業主、創業予定の皆さま

お問い合わせ

一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会



申込QRコード



登録スタッフ おすすめ

新着図書紹介

■郷土資料（琉球・沖縄関係資料）5階

予約用資料コード 1010557369

るるぶジャングリア沖縄
 出版：JTBパブリッシング 出版年：2025.8

内容紹介
 2025年7月開業！やんばるの大自然が舞台の新テーマパークを、るるぶが徹底ガイド。
 アトラクション、グルメ、スパ情報に加え、沖縄本島の最新観光情報も網羅し、付録のMAPが付いています。ジャングリアに行く予定がある方、徹底的に楽しみたい方へお勧めの1冊です。

予約用資料コード 1010557237

沖縄戦場定点写真集
 水ノ江 拓治／著
 出版：バブリブ 出版年：2025.9

内容紹介
 米軍撮影の膨大な沖縄戦の写真148枚の場所を特定し、現在の同じ場所・画角で撮影し比較。戦時下の壮絶な光景と、戦後の激変ぶりを通して、戦争と平和を深く考える貴重な記録集です。
 沖縄戦の記憶を次世代へ伝えたい方や、郷土史や平和学習に携わる方へ、お勧めの1冊です。

予約用資料コード 1010554465

語られなかった沖縄の真実
 琉球王朝から本土復帰まで、琉球・沖縄史をひととく上里隆史／監修 出版：宝島社 出版年：2025.9

内容紹介
 沖縄戦80年。琉球王国から本土復帰後の歴史、「戦果アキヤー」「対馬丸事件」など知られざる歴史と文化を一冊で特集。AIカラー化写真や、2025年公開の映画『宝島』の情報も収録しています。
 沖縄の歴史を深く学びたい方や、沖縄戦80年の節目に平和を考える機会を探している方へお勧めの1冊です。

展示案内

沖縄県立図書館で予定されている展示をご紹介します。特に記載がない場合は、3階展示エリアでご覧いただけます。
 ※展示によっては内容・日程等変更がある可能性もあります。

11/26～12/8	令和7年度 中学生・高校生の税に関する作文優秀作品展	国税事務所
11/26～12/15	令和7年度動物愛護コンクール 優秀作品の展示	沖縄県 自然保護課
12/3～12/22	第15回 ふるさとづくりコンクール～中学・高校生写真コンクール2025	しまて協会
12/5～3/31	11/5～12/8 返還文化財と御後絵 11/25～1/5 沖縄の地域経済について考える展示 12/10～1/12 学びのパスワード説明パネル展示	おきなわ県民カレッジ連携展示 沖縄県生涯学習振興課
12/10～12/15	おでかけ！沖縄県議会×県立図書館	沖縄県議会
12/10～12/22	生きものいっせい調査フォトコンテスト	沖縄県 自然保護課
12/17～1/12	那覇工業高等学校グラフィックアーツ科卒業作品展	那覇工業高等学校
12/24～1/5	明るい選挙啓発ポスターコンクール優秀作品の展示	沖縄県選挙管理委員会
12/24～1/5	令和7年度 年末年始の交通安全県民運動パネル展	沖縄県 生活安全安心課
通年	博物館 12/3～2/23 いのちのカタチ展－好奇心の標本箱－ 美術館 12/3～1/19 ベトナム、記憶の風景展	沖縄県立博物館・美術館
通年	開発途上国・SDGs・国際協力を知る資料やJICA沖縄の施設・事業を紹介	JICA沖縄

11/26～12/8	本でめぐる世界 多文化エリア紹介展示
11/26～12/8	障害者週間関連展示
12/3～12/8	映画の日関連展示
12/3～	5階 須藤利一没後50年回顧展
12/10～12/22	こころあたたまるスूप展示（TRC）
12/17～1/5	年末年始！お掃除展示
12/24～1/12	親子で楽しむ遊び特集

外部企画展示

自主企画展示

■一般図書 4階

予約用資料コード 1010539128

人間には12の感覚がある
 動物たちに学ぶセンス・オブ・ワンダー
 ジャッキー・ヒギンズ／著、夏目大／訳
 出版：文藝春秋 出版年：2025.7

内容紹介
 五感を超え、人間が持つ12の〈超感覚〉を、動物の不思議な能力から紹介。方向感覚、世界感覚など、知られざる能力の最先端科学に触れ、世界の超美しさに驚く一冊。
 「知的好奇心」を刺激したい方や、動物、科学の奥深さを知りたい方へ、お勧めの1冊です。

予約用資料コード 1010546008

西洋コスチューム大全
 古代エジプトから20世紀までの西洋服飾史1000点以上のカラーイラストで詳解
 ジョン・ビーコック／著、[パベル・インターナショナル／訳]
 出版：グラフィック社 出版年：2025.7

内容紹介
 大古代エジプトから20世紀まで、西洋服飾の変遷を1,000点超の精緻なカラーイラストで時代順に解説。長年BBC衣装チーフデザイナーが手掛けた、西洋服飾史を網羅する名著の新装普及版です。
 歴史や美術、映画、漫画、ゲームの衣装デザインに興味がある方へ、お勧めの1冊です。

予約用資料コード 1010539128

怖くて美しい能の女たち
 日本人の美意識の究極のかたち
 林望／著 出版：草思社 出版年：2025.8

内容紹介
 能の世界に描かれた「女」を切り口に、『葵上』『道成寺』など八曲を深く考察。実体験と国文学の知見に基づき、情念や愛憎など、能の奥深さと鑑賞のコツを伝える新しい入門書。能の魅力に触れたい方、古典文学や日本の伝統文化に興味がある方へ、お勧めの1冊です。

★

わらびんちゃ～だより

子ども読書活動推進エリア担当職員が
 今月のおすすめ本を紹介します♪

えほん

3～5歳におすすめ

うんめえめえし のはらのごはん

おくはら ゆめ／さく、ヤスタ屋／料理監修
 ほるぷ出版 2020.2

ふたごのやぎ、あんちゃんともなちゃんは、いつも「うんめえ」ものを探しています。あたたかい風がふく春の野原へ、ふたりは「うんめえめえし」を探しに行きます。あたらしいはっぱ、おはなのみつ、きれいなおがわのおみず…。

ちょっとずつ分けてもらって、どんな料理ができるかな？ふたりが仲良く、おいしそうに食べる様子を、思わずだれが出てきそう一冊。

予約用資料コード 1009104389

えほん

小学1～2年生 におすすめ

タンボボの金メダル

山本 早苗／作、青井 芳美／絵
 出版：BL出版 出版年：2015.12

しずかな山道に立つ、ふたごのバス停ノボルとクタル。
 ふたりが心配しているのは、バス停を使うたったひとりのおきゃくさん、アイコおばあさんのこと。あしがいたくて、さいきんはバスにあまり乗らなくなってしまったのです。「どうしたら、またアイコさんはバスに乗ってくれるかな？」おばあちゃんを思うふたりに、心があたまるお話です。

予約用資料コード 1007748872

★

12月のおはなしの森

12月18日(木)10:30～
 定例おはなし会

12月19日(金)10:30～
 世界のえほん読み聞かせ会

12月25日(木)10:30～
 えいごでおはなし会

えほん

小学3～4年生におすすめ

ふたご探偵シリーズ

ベニー・ワーナー／著、番由美子／訳、ヒューゴノスケ／絵
 出版：KADOKAWA 出版年：2018.7

なぜ解き好きのライラと、手品が趣味のジェイクは、仲良しの双子のきょうだい。ふたりは、それぞれの特技を活かして町で起こる事件や迷宮入りの謎に挑みます。探偵志望のライラが推理し、マジックが得意なジェイクがトリックを見破っていく連携プレーにご注目。
 家族の謎が絡む事件や巧妙な仕掛けなど、本格的な謎解きが魅力のシリーズです。

予約用資料コード 1008993618
 5巻まであります。

12月の空とぶとしょかん

図書館未設置町村等の住民に読書機会を提供するため、空とぶ図書館(移動図書館)を開催しています。

■12月12日(金) 13:00～19:00
 ■12月13日(土) 9:00～12:00

会場：渡嘉敷村 渡嘉敷中央公民館

■12月17日(水) 15:00～19:00
 ■12月18日(木) 9:00～11:00

会場：竹富町黒島 黒島伝統芸能館

こんなこともできます！
 ・持ってきてもらいたい本のリクエスト
 ・新しく利用者カードを作りたい
 ・調べものの相談
 ・島・集落の課題解決
 ・図書館等運営の相談
 ・県立図書館電子書籍の見かた
 ・マイライブラリーの入り方 など

本のリクエスト
 渡嘉敷村教育委員会（三富）
 ☎098-987-2120
 竹富町教育委員会
 ☎0980-87-6257（古見）
 その他お問い合わせ
 沖縄県立図書館広域サービス室
 ☎098-894-7087

たのしい読書会をお楽しみください！

2022年12月の様子